

1 学力の向上 個別最適な学びと協働的な学びによる学習の深化

★学習習慣の確立 学びに向かう姿勢を整える

- 授業準備 ・1分前着席 ・立腰の姿勢 ・整理整頓 ・家庭学習 など、学びに必要な習慣を確立し、学びに向かう姿勢を整える。



★個別最適な学びと協働的な学びの推進 学びの感度を高める



- 考えを高め合い、深め合う協働的な学びを展開する。
- ①まとめへの向かい方はどうだったか、②本時で学んだことは何か、③本時と次時をどうつなぐか等、振り返りの時間を充実する。
- 自分で考え、判断し、計画して、実行する経験を積み重ね、自律した学びを創造するとともに、学びの感度を高める。
- ※ 「学びの感度」とは、「わかった、できた、進んだ、深まった」などの学びに対する実感をいう。

★授業改善の視点を意識した授業の確立 授業を楽しむ

- 「しんとみスタイル」(自調自考協働習熟)の授業実践 ・授業マネジメント ・考え対話する時間の確保 ・ICTの効果的活用による授業改善を図る。
- 「ひなたの学び」の推進 ・問いをもち主体的に学ぶ ・対話的に学ぶ ・考えを深めるによる授業改善を図る。
- 授業で勝負する姿勢を大切に、変容を感じながら授業を楽しむ。



★教員育成指標に応じた資質能力の向上 職能成長を図る

- 個のステージに応じ、様々な機会を学びの場にして情報を収集し、高い意識をもって日々の業務を推進し、職能成長を図る。
- タイムパフォーマンスを意識して業務を推進する力を高める。
- 自己の成長のためにやりたいことに挑戦し、エンゲージメントを高める。



3 健康安全教育 安心安全な教育環境の構築

★防災教育の推進と生活習慣の確立 健康と命を守る

- 命を守るための知識・判断・行動を身に付け、自分たちができる役割について考える防災教育を推進する。
- デジタルシティズンシップ教育によるネットワーク上のルール、マナーの向上と生活習慣の確立を図る教育を推進する。



2 生徒指導・特別支援教育 挑戦と自律を促す環境の構築

★挑戦する姿勢や自律を促す環境の構築 挑戦を楽しむ文化をつくる

- 「何がしたいのか → そのためにはどうしたらよいか」を考え、富田小を自分たちで創っていくという挑戦を促す。
- 4つの実感(自発性・有能感・関係性・帰属意識)を味わわせる機会と場を意図的に設定し、強さやしなやかさをもつ児童を育成する。



★いじめ・不登校への対応と多様性の尊重 寄り添い、繋がる

- 気になる情報の共有による児童理解やSOSの出し方の指導等によるいじめ・トラブルの見逃しを防ぐ。
- 不登校及び不登校傾向の児童や家庭に対する組織的・継続的な対応による居場所の確保や学びの保障、学習支援を行う。
- 多様性を尊重し、違いを認め合う価値観を育む。

★特別支援教育の充実 共に生きる

- 個に応じた教育課程を編成し、必要な合理的配慮を実施することで、自立と社会参加に挑戦できる環境を構築する。
- 見通しをもって相談機能を強化することで、支援を必要とする児童への適切かつ効果的支援と早期対応を実施する。
- SWPBSによる組織的アプローチの実践による教育環境の充実を図る。



4 家庭・地域社会との連携 信頼される学校づくりの推進

★家庭や地域との連携による読書活動の推進 心を耕す

- 町読書推進委員会の事業(バストリーダー、ポップカードなど)や図書委員会のイベントを広く児童や家庭に周知し、読書活動を推進する。

★地域素材・地域人材を活用した「ふるさと学習」の充実 新富のよさを実感する

- ふるさとを知る、ふるさとで学ぶ学習による地域を語ることができる児童の育成を図る。
- 地域で起きていることに関心をもち、学びの場を地域に広げ、新富のよさを実感する児童を育成する。



★学校運営協議会との連携・協働 信頼を得、支援者を増やす

- 学校運営協議会との連携を図り、教育活動の充実を推進する。